

バストス週報

第七四九号
 昭和卅九年
 八月十四日
 発行
 DERETOR
 KOITI MORI
 REDATOR
 SHION ODA
 R. PRES.
 VARGAS 188
 C. P. 112
BASTOS
 C. P.
 ANUAL
 CR. \$
 1.000,00

逸球 32 賭博封じ

一時バク子がこの町に猖獗をきわめたことがある。数年この万下火となつたがあまり噂にのほらなくなつたのでよいあんばいだと思つていたら、近頃また火がついたように盛んになつたという情報が入ってくる。しかも近頃では新額が入つていて、中々派手なやりとりが行われているという。

人間はその本性に於て賭博性をもつて居るかのよくな感じを受けることがある。競争意識がはげしく、他人に負けまいとする意地、自分の思惑の正しさを主張する余り、相手と張り合つて、その是非を勝負せんとする心、けんか鶏に賭け、競馬に賭け、ヒツシに賭け、ロテリアの夢を追う、巷の道では日向ぼっこをしながら議員当落の賭に余念がない。まことに人生賭ならざるはなしの深い。しかしその程度の賭なら、がまんができるが、ほんとうの賭博に浮身をやつすようになつては何とも早や喉かわしい次第だ。最近の投書には、場所や人物、金額、シヨガの方法まで記述し、あるが、真疑はもとより知るよしもない。

次に筆者の判明している一文をここに再録して大方の士の御参考に使いたい。賭博はいかにして封すべきか、氏名を世間に発表すべきか、それともサントに依頼してイムレージャに封じこめてしまふか、子を持つ親の一考を煩わす所以である。(系音)

賭博は罪悪 Y 生

昔から酒と賭博と遊女が無けりやといふ女房たちの悲歎の言葉がある。世に之れを娑婆の三悪というが、中でも社会に及ぼす被害は賭博が最も大きい。何故ならは賭博は国法によつて禁せられてゐるからである。国法は社会の秩序を保ち、国家の安寧を維持するために設けられたものであるが、その国法を犯す者は罪人として所断されなければならぬ。賭博が国家社会に及ぼす害毒の太きいことは世界百數十国の国々が等しく之れ

Alfaiataria Imperial

ほつほつ春だね
 時に春服は？
 僕はマルヤマ
 へ新註さ
 おや、僕も！

丸山洋服店



HOTEL USSAMI

お泊りは清潔な
 うさみ
 お食事はおいしい
 うさみ
 鯉のあらいと 鯉こくと

ホテル
 レストラン

うさみ




SAPATARIA BASTOS

からだ中で一番大切な足！
 大事な足には
 よいクツを

よい靴
 かるくて
 その上、丈夫んで
 安くして美しい

早川靴店



を認めて厳禁しているが、唯一つ、ちつぽけなモノコだけ賭博を公許しているのは周知の通りである。此の一事を以て賭博が如何に国家社会に有害であるかを窺い知る事ができるであらう。

世の中と云うものは、各自がそれぞれに与えられたる正業を励み、社会のためにお互いに役を合せてこそ成り立って行くものである。賭博が社会に対して何の利益をもたらしているであらうか、いかなる利益のあるところか、却って善良なる市民の作ったものを喰い潰し、二度と還らぬ尊い時間を空費するのみである。それのみならず、自己の名誉も信用も失い、いともしき妻子を苦しめ、なかば、親兄弟にも苦しみを興え、世間の人々からは忌嫌われ、瓜弾きをされる。

日本では賭博者を、やくざ者と呼ぶ。やくざとは屑という意味である。人間のクズに成り下がるのは何と憐れなものではないか。苟しくも人間として生を享けた以上、人生の正道を堂々と歩むべきであるのに、国法を犯し、社会の秩序を乱し、人生の裏街をこそこそと歩むとは何と情けないことであらう。斯る人間が世に多いとすれば、一体世の中はどうなるであらうか。考へるだけでも嘆けわしい限りである。

噂によるとわがバストスにも現在賭博が盛んに行われ居り、一勝負二十コント、三十コントの大金が賭けられ、一夜数千コントの勝負が行われるといわれる。これが単なる流言であれば幸であるが、事実とすれば、真に憂慮すべき重大事といわねばなるまい。とかく勝負事というものは、興味深いもので、伝染病の如く蔓延するから、万一にも、そのような事態が生ずるならば、我がバストスは良きにつけ、悪しきにつけ、コロニアの一モテルの如く見做されているから、博徒村の汚名を着。

バストスは、ヤホネス村、くち村、なと川柳にでも詠まれないとは限らぬ。そんなことになれば、それは単にバストスの不名誉に止まらず、ひいては全コロニアは素より、祖国日本の名にも係わるのである。これが人の風評にすぎず、私の杞憂に過ぎなければ、偉であるが、もしも事実とすれば、賭博者たちは、自己のため、家庭のため、親兄弟のため、広くはバストスの名誉のため、コロニア及び祖国日本のため、併せて養国ブラジルの国家社会のために、悪陋を反省し、賭博から、きれいな手引き、忠告する。そして家業に精励する善良なる市民となつて、自他共に愉しい生活に入ることを切望してやまないものである。(Y)

御通知

八月一日より鶏糞の

プレッソを

キロ当り 十八クルセーロ (当分)

と定め実施して居ります。

何卒、この値をくずさぬよう

御協力下さい。尚、キロ一針の

積立は各自の名義にて、処、属組

合へ、積立御実行願上げます。

鶏糞値協定委員会

養鶏家の皆様

バストス

警官道、地に墜ちたり

こともあろうに、警察署長以下全署員が一せいに御用になる事件が起った。ビルマの諸リニヶ月前、中部ビルマのインマビン警察署の近くで五人のりのジィアが谷に落ち、四人が即死した。一人がヤアと車から這い出して、五十キも離れた町の病院に辿りついた。署員が事故現場に駆けつけた時は、恰ど助かった一人が病院へ去ったあと、てっきり全部やられたものと早合点して、全員がガルになり、死体を身ぐるみはぎ、事故を闇から闇へ葬ってしまった。ところが助かった一人が訴えたので、警察署に「ゴッ、ネリ、ナワ」にかかった次第、それにして、警官の又スミ、警官道地に落ちたりというべし。ビルマ、じゃあね

ニイラの病氣

二千八百年前のエジプト、テーベの歌姫シエムムトのミトラが、英国アルバート博物館に保管中アルカトスリアという奇病にかかり、ほつて、あくとミトラがバラににくすれて、こまうので、放射線専門医アドック、松本が、執刀、切開手術を行うことになり、ニイラの背推をとってしまふといふ。病氣の原因は尿の中のアルカトンという酸が異常に多いとアルカトスリアという病氣になる。ミトラと尿、氣の狂い、まう話。

115

22

200

♥ 老童諸君に告ぐ

オールドボーイズ

待望久しき第四回汎パウリスタOB野球大会は、来る八月十六日(日)新装成れるバストス球場に於て、華々しく開催されることとなりました。つきましては「弛みなき精進」を標語とする吾が老童は此の機を利用して、アルタパウリスタ野球愛好者に洩れなく集って頂き心ゆくばかり親睦を計り度いと存じますので、奥様御同伴勿論のこと、親友御誘い合せの上萬障お繰り合せ是非御参加下さいませ様、重ね重ねお願い申し上げます。

- 場所 バストス球場
 - 期日 八月十六日午前八時集合
 - 会費 金一〇〇円也(大野養鶏場昼食の用意あり)
 - ◇ 主催 バストス老童野球部
- 後援 汎パウリスタ野球審判協会

Galmix

VITAMINAS ANTIBIOTICOS
MINERAIS AMINOACIDOS



総合ビタミン剤 ガルミックス

1. ヒントの発育を促進する大きなはたらきがあります。
2. 玉子の増産に驚くべき偉効があります。
3. 性殖本能を高める力を発揮いたします。
4. 飼料の消化を助け、ビタミン×ミネラル×他の抗生物質を必要とする鶏の生理にマッチした総合剤です。

- 効能は一週間で判明。
- 養鶏は本剤で保証
- 年間産卵80%を目標
- 養鶏界の危機突発

abes Produtos Veterinarios

Escritorio R. Barão de Itapetinga 46
5ª and. s/sas S. Paulo

毎月十五日前後に藤本販売主任がバストスに出張いたしますから、その節はよろしくおねがい致します

- ◇ ヒント用 E印
- ◇ 成鶏用 P印
- 飼料—ト—F ガルミックス2キロ混合

第32回支部対抗野球成績

去る廿一日、八月一日、二日、挙行された支部対抗野球試合成績及び各種受賞は次の通りである。

優勝一位	ファイアソン	ブラタック	(得点7)
二位	エスペランサ	チーム	(得点4)
三位	アルトチーム		
打撃一位	ブラタック	佐藤	巖六割四分二厘
二位	アルト	小橋	アルマ四割六分一厘
三位	アラタック	渡辺	パウロ四割三分七厘
最優良投手賞	アラタック	早川	パウロ
敢斗賞	エスペランサ	諸角	三郎
新人賞	エスペランサ	山根	選手
美技賞	アルトチーム	松井	信之
守備賞	投手	アラタック	早川
	捕手	エスペランサ	森元
	一壘	バンテランテ	水馬
	二壘	エスペランサ	小沢
	三壘	ガロリアイ	栖原
	遊撃	バンテランテ	榎木
	左翼	エスペランサ	山根
	中央	アラタック	早川
	右翼	カスカッタ	小野

支那野球が回を重ねること22回とはおどろいた。創設時代の園田氏に思出話をかいてもらいたいと依頼中。

アマゾン先生

原始林に薫るパウロサ

一九五九年、私たちの乗った船は深夜の午前一時にベレン市を出発した。はじめての巡回である。アマゾン河は淡水だが、海と同じように潮の満干に影響されるので、船はみな満潮時を利用して進行する。干潮時の倍も速力がちがうのだ。帆船や手で漕ぐ舟は潮が引きかけると河畔の森かげに入って木の幹に掛をうたぎ、ひるねをしたり雑談をして半日をすごす。そしてまた潮が涌り出すと船は進行をはじめめるのである。全くのんきなものだ。

さて、われらの船 百三十トンのトメアスー定期船白馬号は、途中で下船する人もなく暗やみの中を進んで行った。アマゾン河へ注ぐアカラ河は海のように広く、まん中へ行くとも岸はかすかに見える程度である。岸沿いの家々のあかりも波にかくれてはるかに明滅するばかり。軽快なエンジンの音を響かせて行き交う船の姿もきわめてまはらて乗客たちもそれそれのハンモックで眠りにおちている。まことに静かである。

やがて二時間三時間と上流に向うにつれて川中はせはまり、四時間もすると五百メートルほどのかなたに岸が見えた。これはあとになつてわかつたことであるが、この付近の河畔くらいアマゾンの原形を保っているところは少いという。ともあれ「はるけくも来るものかな」と詩心なき私も、そろり物思いにふけていた。と、突然船が停ってしまった。時計を見ると、恰ど四時、あと二時間の航程である。「どうしたのか」と尋ねると重油がなくなつてしまひ、予備がないからベレン行きの船を停めて重油を買いに行つてくる。帰るのは十八時間後だということ。

「そんなバカなことがあるもんか」と怒つてみても計算するとさういうことになる。さすがにのんきな人たちもそのころになると目を覚まし、ワイワイガヤガヤ騒ぎ出した。そのうちに現地人で一人利口なのがいて

「私もこうした経験があるがガソリンはタメだし危い。代用でさる石油はないか」商人からあずかっているのが十九缶ある。それを「いや、それを使え」と衆議一決、三十分後に船は動き出した。そこでみんな安心してハンモックにかえり、私も自分の床に入つてウトウトしかけたところ、また船が停つてしまった。まだ暗いが、もうアカラに着いた

花の御礼

入植祭演芸会出演の際御花を頂戴いたしました。有難うございました。

- | | |
|-------|--------|
| 佐藤孝子様 | 西村初夫様 |
| 伊藤妙子様 | 安藤すみ子様 |
| 橋元テイ様 | 渡辺つとむ様 |
| 岡田ハマ様 | 佐藤かほる様 |
| 阪東商店様 | 古沢カツ子様 |

花の御礼

- | | |
|--------|---------|
| 友谷和子様 | 織田しづ様 |
| 西村和夫様 | 杉藤ゆき様 |
| 清金太郎様 | 中原けい子様 |
| 古川鶴一様 | 藤前山商店様 |
| 武田栄吉様 | アト島本様 |
| 諸角興吉様 | 柳浦竜太郎様 |
| 島崎ウメ子様 | 紫藤タウバテ様 |
| 古谷ミエ様 | 阪東商店様 |
| 竹内務様 | 橋元テイ様 |
| 安藤まさ子様 | 中原様 |

花の御礼

- | | |
|--------|---------|
| 長岡百合子様 | 板垣恭熊様 |
| 早川様 | 柳浦竜太郎様 |
| 水馬信子様 | 杉藤ゆき様 |
| 友谷千春様 | 梶田商店様 |
| 田中国治様 | 野島みづ子様 |
| 森重商店様 | アト島本様 |
| 境井常吉様 | 荒木メルカド様 |
| 緒方時天様 | 林キヨ子様 |
| 星野成子様 | 星野ネルソン様 |
| 大久保静香様 | |

○以上三人の方の分は前々号にのせる可き処、編集の手違いで、おそくなりました。おわび致します。

痴漢への新武器

イギリスのような紳士国にも最近痴漢が出没して、婦女子を悩ますので、バタラックという新武器が発明された相だ。これは小さな箱型でホルソにでもホルソにでもはいる。いざというとき、ホルソを強く押すと淡い紫色の霧のようなものが噴出して相手の顔にかかる。この霧をかぶった男は、しばらくめくら同然となり呼吸も苦しくなるという仕掛けで、その間にすばやく逃げ去ってしまうことが出来る。おまけに、いくらすすんでもその色が消えないというから奇妙奇妙。

バドミントン準青年野球部決算書

31-JUL-1964

摘要	支出	収入
寄付金		
文化協会杯より		50000000
バドミントン男校より		10000000
佐藤原吉雄杯より		50000000
富田中江藤原杯(聖市)より		10000000
細川江藤原杯より		10000000
サソバウロ新聞社より		80000000
補助金		
予選費(バウリスタ大会)	21330000	
バウリスタ旅費		
ボール三打代		
バット三打代		
洗車賃三人(吹本, 山本送手帰聖)		
捕手ミット, ボンネ		
練習試合 ガララバス行ガソリン代		
ガララバス, フルビラチーム接待費		
合箱練習費	3192000	
七月一日より十日迄 トマカエ-代		
マールカ用品		
聖市大会遠征費		
マールカ台ガソリン 食費 其他	2855000	
7月15日 帰路ガソリン 食費		
7月20日 帰路ガソリン 食費		
7月21日 帰路ガソリン, ガソリン代		
選手往復汽車賃	10739800	
送車中 カフェ-その他		
聖市中 帰路オニマス		
送車中 鞋代		
聖市箱泊費 オナール21-22日 15日より20日迄 20人	2069000000	
オナール, カンホ, セミバール代付 其他 雑代	1140000000	
ガララバス チームへ 見舞金	2000000000	
計	6194480000	6260000000
差 31 残金	665520000	
合計	6260000000	6260000000

1964年8月3日

上記之通り報告いたします

物品寄付御礼

監督 島本 昇
世話人 柳瀬 義太郎

ソルマ野球倶楽部 杉原より ボール一打
森元 武雄 杯より ホンカン一箱
クラ野四部 杯より 軽自動車 予提供
小田 順分 杯より ホンカン 2箱
三野菓子店 杯より 外国製ゼロチール 1瓶

ありがとうございました。

4頁よりつづく(アマゾン先生)

のかと外に出てみると、船は河のまっただ中だ。

「今度は、どうした」と聞けば、大分河中が広がってしまつた。石油を入れているうちに船が向きを覚えてしまつたらうしいし、

何と気づかぬままに一時間余りも逆行していたのである。またワイ、ガヤ、のりち船は順調に進行し始めた。そんなことで六時間つづく若のアカラへ八時間かかり、アカラの波止場に到着したのは日も大分上がった八時頃であつた。村の人たちも心配して待っていてくれた。

波止場には二百軒内外の民家があるが私の訪ねる村は、さらに二十五キロ入る。村につくと盛人に山伐り最中でこちらでもあちらでも現地人の木ニリが、若いも若きも縦横無尽に斧をふるつてゐる。ゴオツと轟音を発して二抱え、三抱えの巨木が十メートル四方くらいまわりの木々を一掃にして倒れてゆく。その様子を黙って見ていた私は突然あたりに立ちこめた芳香に身体もとけるような思いがして陶然となつてしまつた。傍にいた手とつた木

ニリにたずねると、「お前さん、これがパウロロサという香水のもとになる木ですワイ。どこか今倒れた木の中に一本くらいあつたらうし」といふことだ。探してもらつと二握りくらいのパウロロサが一掃に倒れていて、私はニメートルほど切つてもらつて持ち帰つたが、このくらいのもので四千円はするといふ。そこで一句

老そまの斧句わせてパウロロサ
このすばらしい。ただ一かきで天国を想わせるような天恵の芳香を持つパウロロサはアマゾン地域の各地、トオヤボク河のギネヤ高原に沢山現存している。この木材を煮溜すると一トン当り十四キログラムのパラエキス(ヘリナロールを八十%含有)が得られ、香水の原料として欧州

各国へ輸出される。私はパウロロサに心から感謝したい。伐り倒す斧まで匂わせるパウロロサ、パウロロサこそはガンジスムの真理を如実に示したものではなからうか。つくづくわが身がかえりみられてならなかつた。その外アマゾン地帯に産する芳香植物として次のようなものがある。

クフル、パウクラボ、カスカフレシ
オーザ、空ニリア、アロマチカ、など

細江ドクターのアマゾン先生は、あと数回で大体紹介し了ると思ひます。大好評であつたのでドクターも喜んでおられることでしょう。

花 御 礼
去る入植祭演芸会に尺八吹奏を致し、御花をいただきました。御礼申し上げます
三浦洗濯店
梶田商店様
柳浦竜太郎様

花の御礼
佐藤君子より
森元武夫様
味野トシ子様
西見キヨ子様
三ト島本様
木林元ヤエ子より
味野トシ子様
西見キヨ子様
三ト島本様
皆さまありがとうございました

御 礼
金二十コント也
八月十八日訪日の途につかれますので、壮行会を催しました。処、表記の如く御返礼がございました。ありがとうございました。御帰伯なさいますよう念上げます
カロリア又区 一同
真木諭吉様

御 礼
一金一封
御息女幸恵様にはブラジリアに於て急逝なさいましたこと誠に御気の毒に存じます。このたび御追善のため表記の御奇贈ありがとうございました。御礼申し上げます
佛 教 婦 人 会
松川キクノ様

御 礼
金十五コントス也
故御令閨しつ子様一周忌ミサをなさいました。御念として御贈与下さいました。厚く御礼申し上げます
ハストス 暁の星 会
吉浦秀次郎様

バストス学園生徒作品(作文)

入植祭

二斗井敦子 10才 三年

まいねん入植祭はバストスがはじめてひらけた日をお祝いするのです。ことしの入植祭は二日ありました。十一日と十二日でした。十一日の日にはわたわしほしやしんてんらんかい、いけばなやまたグレルポの学校でもひんびようかいがありました。いろいろなくだものや、たまごなど、たくさんありました。今年はクリナーバからたくさんの方の大学生たちが来ていましたので、わたくしたちにたくさんの方に、いっしょにひつような、ものを見せていただきました。前の日は人もすくなく、町もすかでした。夕方は、えんじようは、人がたくさんいました。十二日は、もう朝から、おほさんたちが来ました。おほさんたちも、わたしといっしょに、おほさんたちと行きました。そのおほさんは、ちよつとおほくおたので、朝はおそくおきました。またらい年の入植祭を今からたのしみにして、まそいます。

にゆうしよくさい

たけうち よしめき 12才 二年生

バストスは、まいねんにゆうしよくさいとします。ことしのにゆうしよくさいは、いちはんよかったです。二日ついで、なんでもありました。エスポジションは一日中あいていました。グレルポがありました。クリナーバのぐくせいが、たくさんいました。そつまつ、一つおしえてくれますので、ほくは、たくさんのおこをおほえました。それから、ほくは、えんじかいのせきをとりに行きました。それから、やまゆうを見ました。夕方、ほくは、はやくうちへかえつて、おふるへ、はいつて、夕しよくをたべてから、えんじかいを見ました。えんじかいでは、たくさんのおどりをみて、きれいだと思ひました。たのしみにして、ふんかいのしはいを思ひました。たええバーをこどもたちになけたので、ほくもひろいに行きました。ほくは、いねんの入しよくさいを、たのしみしています。

入植祭

なかうらまさのり 12才 三年生

ことしの入植祭は、とてもにぎやかでした。ほくはエスポジションを見に行きました。エスポジションには、もうたくさんの人たちがきていました。ほくは、たまごや、えんじかい、いろいろなものを見ました。断のルアには、じどう車が、たくさんとまっています。ことしの入植祭には、よその町から大せいの人たちが、バストスに来ました。

にゆうしよくさい

こがみえこ 二年生

わたしは十二日のあさ、マルシヤをしました。ひるから、して人車きようそうと、エスポジションをみに行きました。おあせいの人で、にぎやかでした。人は、えんじかいをみにいきました。バストスふんかいのしはい、とてもおもしろかったです。

にゆうしよくさい

しんたにきみ子 10才 二年

七月十一日と十二日はバストスのにゆうしよくさいでした。とてもにぎやかな日でした。わたしは、ひんびようかいにいきました。しやしんのてんらんかいにい

て、たくさんむかしつかったものもありました。いけばなにも、いっつと、とてもきれいと、おもいました。夜は、えんじかい、かきをみにいきました。しはい、おどりが、とてもおももしろくて、きれいでした。十二日の朝八じから、マルシヤをしました。とてもたのしい日でした。

御礼

金一封

ブラジリヤにて昇天された故重恵様の七日の彌撒を記念して御奇贈下さいました。厚く御礼申上げます

あけの星 会

松川キクン様

御礼

金一封

故御子息繁様の彌撒に際し御奇贈がございました。謹んで拝受致します

あけの星 会

藤井光雄様

三浦洗濯店

三浦宗一さん

祝かいぎよう

大築昌をいのります

ウニオン生

新店ながら、御引立

を賜わり、ありがたく御礼申上げます

テルノ おせんたく

カルミサ そのもの

Tinturaria Miura

三浦洗濯店

イリネウ医院となり

八月十四日(金) 八時 十五日(土) 九時半 *Unito a quella ponte 3: Epoca*

松竹 **あの橋の畔で(第三部)** 桑野みゆき 左 土羊子
天然色 園井啓介 浅茅しのぶ

八月十六日(日) 九時半 十七日(月) 八時 *Unito a quella ponte Ultima Epoca*

松竹 **あの橋の畔で(完結編)** エレンコ 前篇と同じ
天然色 晴れて結ばれたまき子と光晴 愛の生命を燃やしつくす喜びと悲しみの日々

八月十八日(火) 十九日(水) 両夜とも八時より *Am canto estranhero la langr*

日活 **遙かなる国の歌** 小林 旭 笹森礼子
天然色 小高雄二 山内賢

望郷のメロディー「ズヒルサヨ」が奏でる混血少年とトロンボットの熱血漢の友愛、
流行のポピュラーミュージックを網羅して絶対痛快な娯楽大作！

八月廿一日(金) 八時 廿二日(土) 九時半 *Uma Fantasia para dois*

松竹 **二人だけの此石** 岡田茉莉子 三国連太郎 ミヤコ蝶々
天然色 アイジュージ 笠 智 衆 丹波哲郎

浅谷実監督の話題作、この異色キャストの顔振をこらんと下さい

八月廿三日(日) 九時半 廿四日(月) 八時 *O sol que abraçava o deserto*

東映 **砂漠を渡る太陽** 鶴田浩二 佐久間良子 山村聡
天然色 高倉 健 久保菜穂子 小形 敦 伊藤雄之介

このスケール、この迫力、動乱の天地に吼える 熱血児鶴田浩二！

どの映画も五オ以上リケレてございます、

御蒙候おそろいで申いで下さい

第十七回全伯少年野球大会の歌

聖市 落電作市つくる

1. 少年野球が始まって
今年でちようど十七回

三連勝に準備勝
通算出場十三回

野球の温床だバストスだ
名門なりとは人をさう

2. 地方予選に勝抜いて
駒を進めてはるはると

檜舞台のサンパウロ
日頃の練磨に物まわせ

張り切るバストス少年軍

3. 第一試合にジャールスを
九対一で退ける

夜来の雨で球場を
余儀なく移すモジカンホ

カネホーカンホの熱戦で
相手チームのマウワ軍

七対三に打ち取って
勝星あけレバストス軍

5. 第三日は優勝戦
準決勝に最強の

ベンセスラウとの一騎打
敵が一点先取せて

裏で一点返上し、延長戦の八回で
遂に勝ったぞバストス軍

6. いよいよ強敵モジと組む
今日の栄誉を飾らんと

秘術をつくす攻防戦
満塁のチャンスあつたけど

7. 援の母も泣いてた子も泣いた
よく頑張った頑張った

運がなかったただけなんだ
又来年は此のキャンホ

見事な戦いを見せてくれ

日本語を習わせましょう

授業時間

朝の部	七、三〇	八、三〇まで
昼の部	三、〇〇	四、〇〇まで
夜の部	七、〇〇	八、〇〇まで
日曜日	朝九時より	十時半まで
		一時間半

適宜の都向においで下さい
バストス学園

矢野 俊平